



2026年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社 P E G A S U S
代 表 者 名 代表取締役社長 美馬 成望
(コード番号：6262 東証スタンダード)
問 合 せ 先 執行役員 多田 雅一
(TEL. 06-6451-1351)

「新中期経営計画の基本方針」の公表について

当社は、2024年5月20日に2027年3月期を最終年度とする中期経営計画を公表し、各目標達成に向け尽力してまいりました。

しかしながら、外部環境の大きな変化を踏まえた最近の業績動向を背景に、ROEは3期連続で5%を下回り、PBRにおきましても1倍割れの状態が継続しています。

このような状況を考慮して、成長に向けた戦略の一部再考ならびに期待収益率改善に向けた事業の再構築に取り組み、持続的な企業価値向上を推進する基盤を固め、速やかにROEとPBRの向上に努めてまいります。

本来であれば新中期経営計画を2027年5月に開示するところ、前倒しして2026年5月に同計画の基本方針を公表いたします。なお詳細版は、改めて本年10月末に公表させていただく予定です。

つきましては、本日開催の取締役会において、上記新中期経営計画に関する基本方針を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

PEGASUSの新中期経営計画の基本方針

当社は、企業理念に「人と技術を通じて、よりよい製品・サービス・品質の提供に取り組み、社会の発展に貢献すること。」を掲げています。上記理念ならびに「PEGASUSは、いつだって人のそばにある」の想いを胸に、持続的な社会の発展に貢献し、当社の中長期的な企業価値向上を目指します。

このような取り組みを通じて、持続的な事業価値・株主価値の創出を行い、**ROE 9%超とPBR 1倍超の早期実現**を目指します。

「PEGASUSは、いつだって人のそばにある」

の想いを胸に、持続的な社会の発展に貢献し、当社の中長期的な企業価値向上を目指していきます

PEGASUSは、 ROE 9 %超とPBR 1 倍超の早期実現を目指します

事業戦略

アパレルマシナリー事業

1. 輸出縫製^{*1}でのシェア拡大
2. 新興国の内需縫製^{*2}の市場開拓
3. 生産体制の更なる進化



オートモーティブ事業

1. 売上拡大に向けた営業強化
2. 生産性向上によるコストダウン
3. 特殊鑄造の高付加価値製品の市場投入



財務戦略

1. 資本コストの再設定を行い投下資本最小化のためBSマネジメントを導入
2. 従来の配当性向ではなく、BSマネジメントに基づく株主還元

非財務戦略

1. 多種多様な人が安心して働ける環境の整備
かつ戦略遂行に資する人材への投資
2. 取締役会の実効性を向上すべくガバナンス体制の強化

*1 グローバル展開をしている高機能要求の大手アパレル向け（輸出向け）縫製、当社の得意とするセグメント

*2 機能性よりも価格要求が強いセグメント